

実習名：老年看護学実習Ⅱ

実習目的：地域包括ケアシステムの中において、様々な療養生活の場で疾患・障害を抱えながら生活する高齢者と家族の特性について、施設実習および文献や視聴覚教材を通じて理解できる。

高齢者と家族がその人らしく住み慣れた地域で生活し続けるために必要な支援と多職種連携、ならびに看護観や看護支援について自分自身の考えを深めるために、必要と考えるテーマについて、自分自身で学習したことを他者と共有することができる。

施設実習とは、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、介護老人福祉施設、看護小規模多機能型施設である。

時期：2022年5月9日～20日（3.5日が施設実習、前後は学内での学習）

2022年5月23日～6月3日（3.5日が施設実習、前後は学内での学習）

2022年6月13日～6月24日（3.5日が施設実習、前後は学内での学習）

指導内容：教員の補助業務として、学内指導（グループワークのファシリテート）、実習施設への訪問など

科目名：老年看護方法論Ⅱ、看護過程Ⅲ、その他の老年看護学の科目

内容：老年看護方法論Ⅱ～技術演習（生活行動リハ、摂食・嚥下リハ等）

看護過程Ⅲ～老年事例による看護過程演習

老年看護学概論～グループ討議

指導内容：教員の指導のもと、演習の指導業務、物品準備等

時期：2022年4月下旬～

<募集時期>

4月1日～ 決定次第

<教員からのメッセージ>

老年看護学実習Ⅱは、医療機関以外の地域の中で、高齢者が療養する様々な場所で実習します。老年看護方法論Ⅱ、看護過程Ⅲも、事例に沿った技術、看護過程の展開演習となります。老年看護学の看護教育に関心のある方は、ぜひ一緒に教育活動に関わりませんか。詳細をお知りになりたい方は、メールをお待ちしています。

連絡先：教授 梶井文子 メール：kajii@jikei.ac.jp